

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.12

幕張サン・ハイツ自主防災会 2018.9

災害発生

断水や停電

▼
トイレが使えなくなる

■トイレ不足がもとで2次災害 !!

2016年熊本震災時のアンケートで最も困った問題の67%がトイレ問題でした。トイレが不衛生で不快な場合だけでなく、トイレが遠い、寒い、暗い、怖いなど、使い勝手が悪いと私たちはトイレに行く回数を減らすために、水分や食事を控えてしまいがちです。その結果、脱水症状になるほか、慢性疾患が悪化するなどして体調を崩し、エコノミークラス症候群や脳梗塞、心筋梗塞で命を落とすこともあります。

■災害用簡易トイレの配布

災害断水時のトイレはお風呂の水で流せるから大丈夫と思っている人が多いようですが、下水道やマンションの配水管が壊れたら、その復旧にはかなりの時間がかかります。

このため災害時には、確認がとれるまでの間、絶対にトイレの水を流してはいけません。

マンションのトイレが使えない状態で被災しているあいだ、トイレをどう処理するかが大きな問題になってきます。

災害用簡易トイレを備蓄しているご家庭でも使用した体験がある方は少ないはず。近日中に災害用簡易トイレのサンプルを配布させていただきますので、いざという時に備え、実際に使ってみて、今一度、トイレが使えない状況を考えてみてください。